

令和 4年10月24日

久喜市長 梅田修一様

久喜市総合振興計画審議会
会長 石上泰州



第2次久喜市総合振興計画（案）について（答申）

令和3年3月26日付け久企第851号で諮問のあった第2次久喜市総合振興計画（案）につきまして、本市を取り巻く時代潮流や現状と課題、SDGsの推進、市民意識調査等に基づく市民の意識や期待などを踏まえ、当審議会において11回にわたり慎重に審議を重ねた結果、その内容は妥当であると認め、ここに答申します。

なお、計画の推進にあたっては、下記の意見について十分配慮されるよう要望します。

記

- 1 当審議会の審議過程や、市民意識調査等で寄せられた意見を尊重するとともに、本計画を広く周知し、市民参加と協働をまちづくりの重点と位置付け、市民と行政による協働・共創のまちづくりに努められたい。
- 2 基本構想に掲げた将来像「人が笑顔 街が元気 自然が豊か 久しく喜び合う住みやすいまち 久喜」の実現に向け、最大限の努力と熱意をもって、各地域の実情や特性を生かした積極的な取組みの推進に努められたい。
- 3 国連で採択された2030年を期限とする国際目標であるSDGs（持続可能な開発目標）に掲げられた17のゴール（目標）と169のターゲットの達成に向け、誰一人取り残さない持続可能なまちづくりの実現に努められたい。
- 4 本計画が「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と一体的に位置付けられていることを踏まえ、人口減少社会の中にあっても、引き続き久喜市が賑わいと活力のあるまちとなるよう、移住・定住の促進や子育て・教育への支援、地域の活性化など、地方創生に繋がる施策の推進に努められたい。
- 5 前期基本計画に掲げた施策を着実に推進するとともに、PDCAサイクルを踏まえた進行管理に基づき、その評価にあたっては外部機関（審議会等）の視点を取り入れ、社会経済情勢の変化を的確に捉えた事業の見直し・改善に繋げるよう努められたい。